



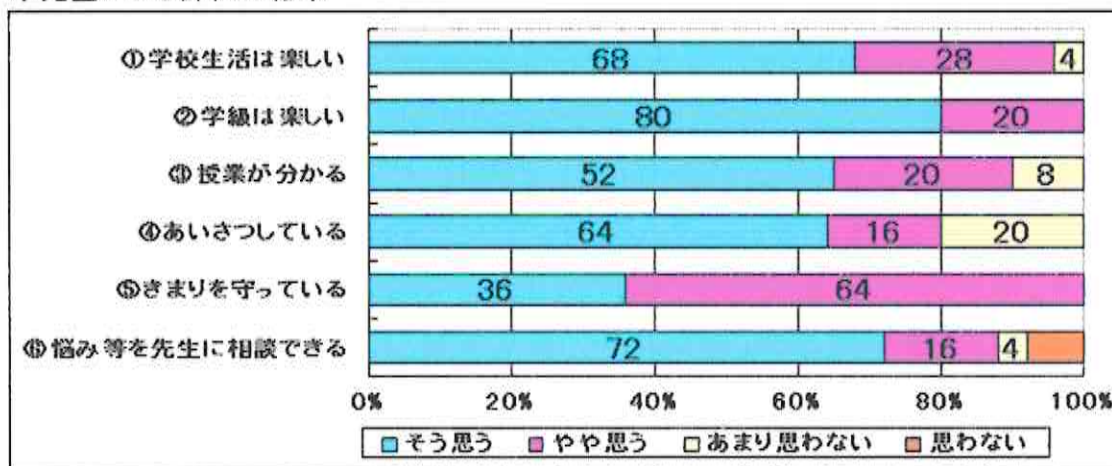
お忙しい中、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果をまとめましたのでご報告いたします。

～ 令和6年度学校評価アンケートの結果 ～

- 1 目的：『信頼される学校づくり』を目指すため、学校の教育目標や教育活動の達成状況等に対する自己評価を行い、学校組織と教育活動の活性化、また、学校、家庭、地域が一体となった特色ある学校づくりのための課題を明確にする。
- 2 実施：令和6年12月～令和7年2月
- 3 対象：児童（25名）・保護者（19家庭）・教職員（10名）・地域（37名：学校運営協議会委員・地域学校協働本部委員・八東ニコニコお助け隊）
- 4 方法：児童・保護者・教職員：google フォーム， 地域：アンケート用紙
- 5 内容：児童の学校生活・家庭や地域との連携・学校運営・教育活動等
※対象により質問内容や数が異なる
- 6 回収率：児童100%・保護者100%・教職員100%・地域60%

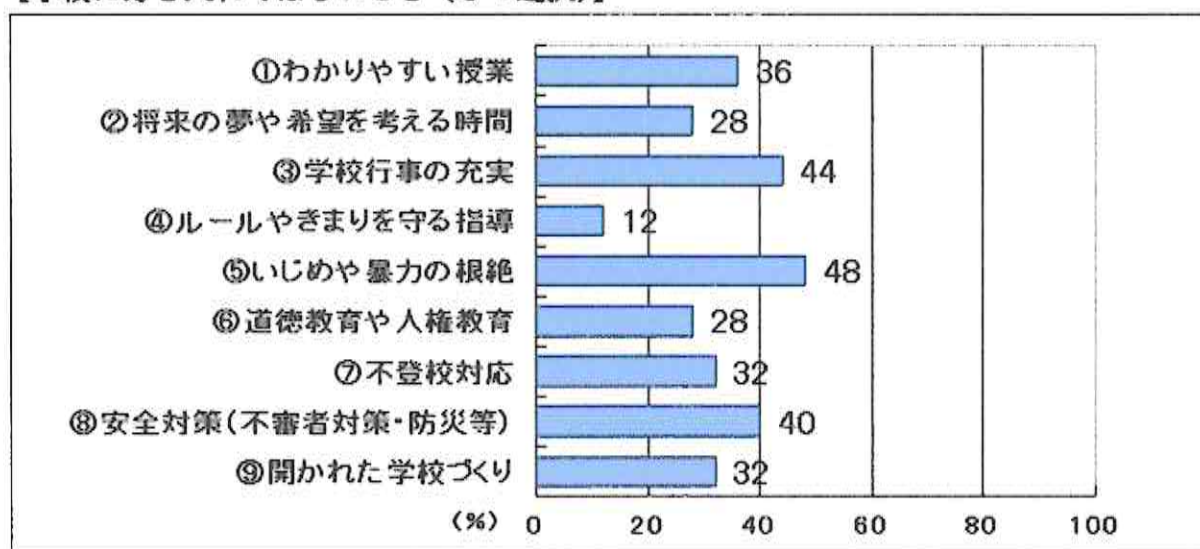
7 集計結果・分析

(1) 児童による評価の結果



- ・全ての項目において肯定的評価が高くなっている。中でも、③「あなたは授業がよくわかりますか」は、昨年度よりも肯定的評価が増えた。
- ・④「あなたは元気よくあいさつをしていますか」と⑥「あなたは学校での悩みや困ったことについて先生に相談できますか」については、高学年に否定的評価が見られる。

【学校に力を入れてほしいこと（3つ選択）】



・昨年度と同様に⑤「いじめや暴力をなくす」、③「子どもたちが中心となって計画できる学校行事をふやす」、⑧「あやしい人が入って来たときや、地震のときの安全対策をしっかりする」を選択した児童が多かった。

・④「ルールやきまりを守る指導」を求める意見が昨年度よりも半減し、最も少なくなった。

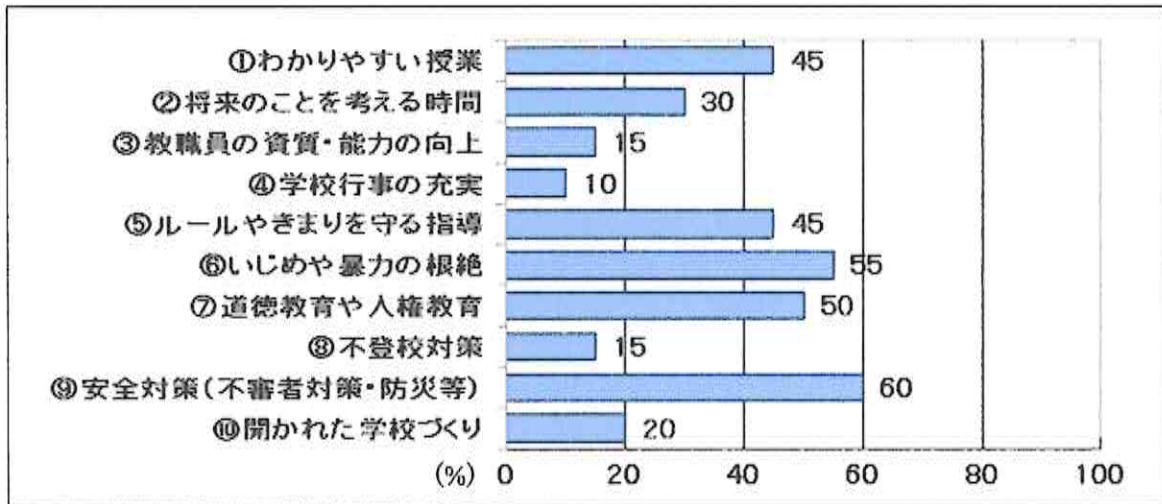
(2) 保護者による評価の結果



・全ての項目において、昨年度よりも肯定的評価が高まった。

・学年が上がるにつれて否定的評価が増える傾向にある。

【学校に力を入れてほしいこと（3つ選択）】



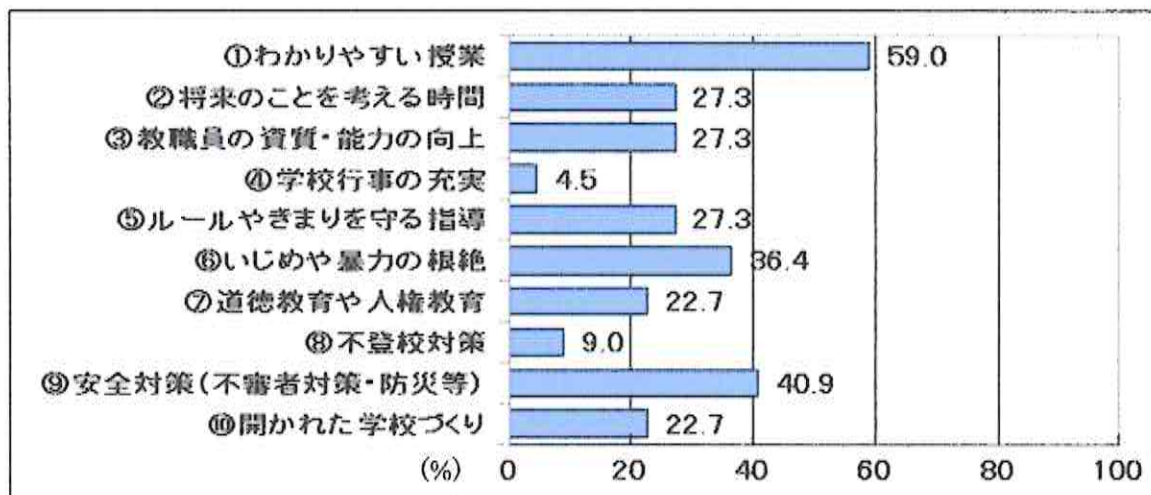
- ・多い順に⑨「防災教育や不審者対応など安全管理に力を入れる」、⑥「いじめや暴力行為を根絶する」、⑦「道徳教育や人権教育に力を入れる」となっている。
- ・全体的な傾向として徳育に関する項目（⑤～⑧）を選択した人が多い。

(3) 地域による評価の結果



- ・全体的に昨年度よりも肯定的評価の割合が下がった。要因としては、評価対象者を広げたことと、実際に子どもたちの学校での様子を観たうえで評価していただいたことが影響しているものと思われる。本年度の調査結果は、多くの地域の方の率直な思いの表れだと受け止めている。
- ・④「子どもたちや教職員は、あいさつができていますか」については、「学校ではできているが地域ではできていない」という声があった。

【学校に力を入れてほしいこと(3つ選択)】



- ・多い順に①「わかりやすい授業をする」、⑨「防災対策や不害者対策など安全対策をしっかりする」、⑥「いじめや暴力行為を根絶する」となっている。地域の将来を担う子どもたちへの期待が表れている。
- ・⑩「開かれた学校づくりを進める」を選択した割合は高くないが、昨年度と比べると3倍に増えている。

【ご意見】

保護者

- ・学校への送り迎えの際、大雨の時などは学校駐車場まで車で入れるようにできたらありがたいです。
- ・クラスのお便りで、もう少し普段の授業や生活の様子が知れたらいいなと思います。

地域

- ・いつも遅くまで先生達の車が学校にあります。体にも家庭にも無理がかからない様に…。温かく子ども達を指導して頂きありがとうございます。
- ・教師、学校職員、保護者の方に任せます。(9)“命の大切さ”についても教育?と思います。
- ・マラソンの日に見てびっくり。余りの少なさに驚きました。地区の人たちと色々な行事を考えて、皆で出来る料理とか演劇とかを年に1回とかやれたらいいなあー。先生も大変ですね。
- ・挨拶ができない生徒がいます。挨拶は大事だと思います。
- ・質問が抽象的過ぎて答えにくい。もっと具体的な内容にしてほしい。
- ・保護者等が子ども達を乗用車で連れて来て、校門前やその近辺にて下車している光景を時々見掛けます。特にこれから先は地元の農家では田植等が始まり車の往来が増加して狭い道路には危険度が増えてまいります。故に今一度、学校より保護者等には、学校の指定した場所にて下車するよう申して下さい。お願いします。

(5) まとめ(分析)

アンケートの共通項目の肯定的評価の割合を比べることで成果と課題の検証を行いました。

【質問項目(R5・R6 年度比)】 ※「そう思う」「ややそう思う」を合計した割合(%)で比較

	保護者			児童			地域			教職員		
	対象数	回収数	回収率	対象数	回収数	回収率	対象数	回収数	回収率	対象数	回収数	回収率
	19	19	100%	25	25	100%	37	22	60%	10	10	100%
①	お子さんは学校生活に満足していると思いますか			あなたは学校生活が楽しいですか			学校の教育活動は満足できる状態ですか			子どもたちは学校生活に満足していると思いますか		
R5	94			100			100			90		
R6	100			96			100			100		
②	先生はわかりやすい授業に つとめていると思いますか			あなたは授業がよくわかりますか			子どもたちはのびのびと充実した学校生活を送っていると思いますか			あなたはわかりやすい授業 につとめていますか		
R5	94			88			100			100		
R6	100			92			95			90		
③	お子さんはあいさつができて いると思いますか			あなたは元気よくあいさつを していますか			子どもたちはあいさつがで きていると思いますか			子どもたちはあいさつがで きていると思いますか		
R5	91			97			100			80		
R6	95			80			95			100		
④	お子さんは悩みや困ったこと について教職員に相談し ていると思いますか			あなたは悩みや困ったこと について先生に相談できま すか						子どもたちは悩みや困った ことについて教職員に相談 していると思いますか		
R5	71			91						90		
R6	76			88						100		
⑤	お子さんは自分たちの学級 を楽しんでいると思いま すか。			あなたは自分の学級が楽し いですか			教職員は意欲を持って教育 活動にあたっていると思 いますか			子どもたちは自分たちの学 級を楽しんでいると思 いますか		
R5	94			100			100			100		
R6	100			100			100			100		
⑥	学校は子どもたちや保護者 の声を聞き、教育活動に反 映していると思いますか						学校は保護者や地域住民 の声を聞き、その声を教育 活動に反映していると思 いますか			学校は子どもたちや保護者 の声を聞き教育活動に反映 していると思いますか		
R5	94						91			100		
R6	95						77			100		
⑦	学校や担任は家庭への連 絡や情報提供を積極的に 実施していると思いますか						学校は学校や子どもたちの 様子を地域に積極的に知ら せていると思いますか			本校は家庭への連絡や情 報提供を積極的に実施して いますか		
R5	91						100			90		
R6	100						89			100		
⑧	学校は防災や安全教育に 努め、子どもの安全につ いて指導や取組をしている と思いますか			あなたは学校のきまりを 守って生活していますか			学校は防災や安全教育に 努め、子どもの安全につ いて指導や取組をしている と思いますか			学校は防災や安全教育に 努め子どもの安全につ いて指導や取組をしている と思いますか		
R5	94						100			100		
R6	100			100			100			100		
⑨	あなたは悩み困ったこと について教職員に相談でき ますか						学校は子どもたちの課題を オープンにして保護者や地 域住民と協力して解決し ようとしていますか			保護者は悩み困ったこと について教職員に相談して いると思いますか		
R5	88						100			90		
R6	95						87			90		

【力を入れて取り組むこと】 濃い黄色:最も多い・薄い黄色:2～3番目に多い

	児童	保護者	地域	教職員
①わかりやすい授業	36.0	45.0	59.0	70.0
②将来について考える機会の設定	28.0	30.0	27.3	20.0
③教職員の資質・指導力の向上		15.0	27.3	20.0
④学校行事の充実	44.0	10.0	4.5	0
⑤ルールやきまりを守る指導	12.0	45.0	27.3	60.0
⑥いじめや暴力の根絶	48.0	55.0	36.4	30.0
⑦道徳教育や人権教育の推進	28.0	50.0	22.7	10.0
⑧不登校児童への支援	32.0	15.0	9.0	40.0
⑨安全対策(不審者・防災等)	40.0	60.0	40.9	40.0
⑩開かれた学校づくりの推進	32.0	20.0	22.7	10.0

【成果】

- 児童も家庭も地域も学校生活への満足度が高く、本校の教育活動が一定評価されているものとする。
- 全体的に授業に対する満足度が高く、本年度の授業改善の取組が一定評価されたものとする。
- 児童も家庭も地域も防災・安全教育を求める声が高く、昨年度と比べても増加していることから、本年度実施した保護者・地域を巻き込んでの「子ども防災キャンプ」の成果とする。

【課題】

- 「学校は敷居が高い」と言われるが、児童も保護者も教職員に気軽に相談できていない状況が見られる。スクールカウンセラーとも連携しながら相談体制の充実や関係づくりに取り組んでいく。
- 通信アプリtetoruを導入したことでタイムリーな情報発信ができるようになり、保護者の評価は高くなったが、地域の評価が、学校からの情報発信や受信に関する項目で低くなっている。もっと児童が地域に出たり、地域の方から学ぶ活動を増やしていくことで、地域に学校の取組が見える化していく必要がある。
- 学校に力を入れてほしいこととして、児童は「子どもが中心となって計画できる学校行事を増やす」が最も多くなっている。裏返せば、「自分たちの意見が反映されていない」ということであり、児童の主体性を引き出す仕掛けが必要である。

教職員一同、本調査の結果を真摯に受け止め、改善すべき点は見直し、良い点はさらに伸ばしていけるよう、一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

次年度も、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。